

令和8年度（2026年度）第1回八王子市スポーツ推進審議会 議事録

1 審議方法 書面審議

2 審議期間 令和8年4月27日（月）～令和8年5月15日（金）

3 書面審議者

委員 薄井委員、栗本委員、澤本委員、杉崎委員、鈴木委員、平山委員、
（名簿順） 松井委員、上田委員、沼本委員、松山委員、高田委員、渡辺委員、
井上委員（計13名）

4 事務局 生涯学習スポーツ部スポーツ振興課

5 議題

（1）屋外プールの現状・課題について

6 書面開催となったことへの同意について

<回答の結果>

合意：13名 合意なし：0名

回答者全員から合意を得られたため、本会議は書面開催とすることについて承認された。

7 議題1 屋外プールの現状・課題について

<書面開催の結果>

質問あり：4名 質問なし：9名

<質問内容>

- ・八王子市において市営の屋内公認プール（50m）を設置するとしたらどれくらいの金額がかかりますか。
- ・中核都市の八王子市としては、交通の便が良くて、水泳教室・水泳スクール等を企画し、大学生をインストラクターとして活用するなどの様々な計画によりプールの活性化につながると良いと思います。
- ・屋外プールの存続を判断する際、市として最も重視する評価軸は何か知りたい。（利用者、維持管理費、地域性など）
- ・周辺自治体で屋外プールが相次いで廃止されているが、八王子市が屋外プールを維持した場合、多くの地域から利用者が見込める可能性はないか。

- ・市営プールと民間施設との役割分担をどのように考えているか（利用者が感じる最大の違いは料金だと思う）
- ・学校プールの統廃合や屋内化の話と、市営プールの存廃議論はどのように連動しているか。
- ・市営プールが廃止になった場合、夏季の子どもの遊び場不足はどのように考えているか。
- ・屋外プールを水遊び場などへ転換する可能性はあるか。
- ・陵南プールを改修した後、または廃止した場合、その後の施設の位置付けとして、レジャー施設として維持するのか、健康増進・水泳指導などの役割を持たせるのか。
- ・廃止されたほとんどの理由が施設の老朽化となっていますが、その後どうしているか、他の利用方法はあるのか、また、新たな施設はできているか、計画があれば知りたい。
- ・近年の猛暑からすれば現状のままでは屋外プールの存続は難しい。建築・健康面からも十分に意見を聞いて新たな施設整備の検討、利用者の声を聴いて対策してほしいと思います。
- ・屋外プールの整備は、使用できる期間が短いことから、費用対効果の点から積極的に取り組めないことは理解できるが、廃止イコール市民が利用できるプールの減少となってしまうのではないと考えます。その点について、今後のプール整備のビジョンを伺いたい。
- ・市で整備できない部分については、民間施設の利用を視野に入れるのであれば、民間施設に補助金を出すなどして、例えば、民間プールを利用した際の市民割引制度を推進し、市民利用の啓発をするなどの考えはあるか伺いたい。

質問への回答については、令和8年5月29日（金）に開催予定の「令和8年度（2026年度）第2回八王子市スポーツ推進審議会」において行う。

（了）